

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2005 年 2 月 10 日 (10.02.2005)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2005/012570 A1

- (51) 国際特許分類: C12Q 1/68, 1/02, C12N 15/09, G01N 33/15, 33/50, A61P 3/04 3 番地 萬有製薬株式会社 つくば研究所内 Ibaraki (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2004/010664 (74) 代理人: 長谷川 芳樹, 外(HASEGAWA, Yoshiki et al.); 〒1040061 東京都中央区銀座一丁目 10 番 6 号 銀座ファーストビル 創英国際特許法律事務所 Tokyo (JP).
- (22) 国際出願日: 2004 年 7 月 27 日 (27.07.2004)
- (25) 国際出願の言語: 日本語 (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願2003-204249 2003 年 7 月 31 日 (31.07.2003) JP
特願2004-057535 2004 年 3 月 2 日 (02.03.2004) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 萬有製薬株式会社 (BANYU PHARMACEUTICAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒1038416 東京都中央区日本橋本町 2 丁目 2 番 3 号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 小谷 秀仁 (KOTANI, Hidehito) [JP/JP]; 〒3002611 茨城県つくば市大久保 3 番地 萬有製薬株式会社 つくば研究所内 Ibaraki (JP). 板谷 啓 (ITADANI, Hiraku) [JP/JP]; 〒3002611 茨城県つくば市大久保 3 番地 萬有製薬株式会社 つくば研究所内 Ibaraki (JP). 水洗 慎司 (MIZUARAI, Shinji) [JP/JP]; 〒3002611 茨城県つくば市大久保 3 番地 萬有製薬株式会社 つくば研究所内 Ibaraki (JP). 荒木 啓充 (ARAKI, Hiromitsu) [JP/JP]; 〒3002611 茨城県つくば市大久保 3 番地 萬有製薬株式会社 つくば研究所内 Ibaraki (JP). 三木 里美 (MIKI, Satomi) [JP/JP]; 〒3002611 茨城県つくば市大久保
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).
- 添付公開書類:
— 国際調査報告書
— 電子形式により別個に公開された明細書の配列表部分、請求に基づき国際事務局から入手可能
- 2 文字コード及び他の略語については、定期発行される各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: METHOD OF EVALUATING COMPOUND EFFICACIOUS IN TREATING OBESITY BY USING Slc25a10

(54) 発明の名称: Slc25a10 による肥満治療に有効な化合物の評価方法

(57) Abstract: In the evaluation of a compound such as screening of a remedy for obesity, use is made of the expression level of Slc25a10 gene or its protein in a test tissue or a test cell or the properties of the gene or protein for the evaluation. To examine obesity, the examination is made on the basis of the expression amount of the Slc25a10 gene, a polymorphism in the gene, etc.

(57) 要約: 肥満の治療薬のスクリーニング等をはじめとする化合物の評価において、Slc25a10 遺伝子又はタンパク質の被検組織又は被検細胞における発現レベルや、当該遺伝子又はタンパク質の性質を利用して当該評価をする。肥満の検査において、Slc25a10 遺伝子の発現量や当該遺伝子における多型等に基づいた検査をする。